

高齢者のインフルエンザ予防接種を無償化

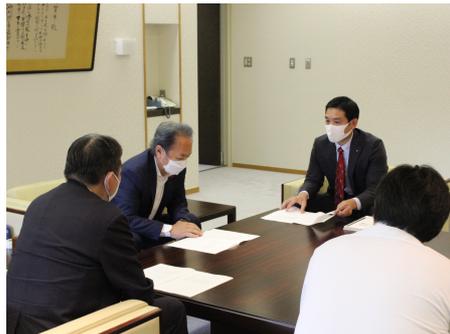
国の臨時交付金及び新型コロナウイルス基金を充当した補正予算を議決

9月29日に臨時議会を開会し、新型コロナウイルス感染症対策に関連する補正予算を審議可決しました。内容は、高齢者（主に65歳以上）のインフルエンザ予防接種の自己負担額を無料とし、接種率を向上する取り組みに2億8千万円余、動物愛護センターの改修に198万円、保育所等への支援員の配置に6千7百万円余の増額補正です。インフル予防接種無償化は、コロナ禍でのインフル流行期到来に備えてなるべく接種率を上げ体調管理を徹底していただくための補正で、医療崩壊を防ぐための方策でもあります。動物愛護センター改修は、ペットの飼い主が新型コロナ陽性になった場合にペットを預ける場所がどうしても見つからない場合に限り、緊急預かりをするための部屋の改修になります。そして、保育所等への補正は、消毒作業の徹底等、本来業務以上の部分で疲弊している保育現場に支援員を配置するための補正となります。いずれも新型コロナ対策としてすぐにも執行すべき予算ですので、臨時議会を開き審議可決しました。インフルの無償予防接種は10月1日より始まっています。これを機に早めにお受けください。

政策提言2021を市長に

私が所属する会派「よこすか未来会議」は毎年来年度予算に対して政策提言を行っています。昨年は広聴会を実施し、多くの市民の方と意見交換をし政策を取りまとめましたが、今年はコロナ禍で集まれないため、オンラインで広聴会を開催、予想以上の人数の方々から意見をいただくことができました。

このようにして取りまとめた来年度予算に対する政策提言を10月2日に市長に手交し、特に強調したい事項について意見交換しました。コロナ禍で厳しい家計からの市税等の減免や減収した法人・



個人からの大幅な市税収入の減が見込まれるため、来年度の予算編成は大変難しい判断になると思いますが、見直すべき事業をしっかりと見直すチャンスにして欲しい旨市長にお伝えしました。

マニフェスト大賞エリア選抜通過!

マニフェストに基づき政策のPDCAサイクルを回す「よこすか未来会議」の取り組みが、昨年優秀マニフェスト推進賞を受賞しました。今年はコロナ禍における会派会議のオンライン化と、3密を避けるオンライン広聴会の取り組みについて応募したところ、エリア選抜（一次選考）を通過しました。全国から応募された2,842件のうちの138件に選ばれました。今後さらなる選考を経て、ノミネート候補35件が発表されます。エリア選抜通過案件についてはマニフェスト大賞HPをご覧ください。（右QRコード）

テーマ別オンライン未来会議を開催

市民のニーズは常に変化しています。時代の変化や、新型コロナウイルス等の突発要因など、その原因は様々ですが、だからこそ常に市民の声に耳を傾ける必要があります。私たち「よこすか未来会議」は常に市民の声を意識し、政策立案・提言を行っており、その一環として広聴会を開催しています。今回はテーマ別オンライン未来会議を開催します。

テーマは公共施設について。人口減少傾向にある中、公共施設については更なる効率化が求められています。無駄がないか、時代に即した施設になっているか、使い方は改善できないか。様々なご意見をお寄せいただければ幸いです。ぜひこの機会にオンライン未来会議に参加いただき、市政について議論する機会にいただければと考えます。参加無料。

10月23日（金）19:30スタート
参加申し込み方法はSNS、ウェブサイト等でお知らせします。



よこすか未来会議

検索

横須賀市公式LINEに登録を

横須賀市は市民や市外の方に知っていただきたい情報をより手軽に届けるため、LINEによる情報発信を始めました。議会からも要望していた情報発信方法です。LINEを使えば、より迅速で利便性の高い情報伝達が期待されます。トーク画面では、災害情報など緊急のお知らせの他、市からの重要なお知らせを発信します。また、友達登録時や受信設定から希望する分野を選択すると、希望した分野の情報も配信します。新型コロナウイルス感染症関連情報、災害・防災その他の緊急情報ははじめ、ごみ、子育て、認知症関連情報も配信しています。ぜひご登録ください。

